



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月4日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	645,751	7.3	79,642	△15.6	83,184	△16.6	56,359	△18.3
30年3月期第3四半期	601,930	17.2	94,345	32.0	99,720	32.1	68,978	33.0

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 51,866百万円(△32.7%) 30年3月期第3四半期 77,017百万円(50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	173.57	173.36
30年3月期第3四半期	212.45	212.23

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	871,466	559,841	59.9
30年3月期	845,748	528,066	58.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 522,300百万円 30年3月期 490,824百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期の連結財政状態については、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	12.00	—	32.00	—
31年3月期	—	28.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合したため、平成30年3月期の1株当たり期末配当金は、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合を考慮した場合の1株当たり年間配当金合計は、56円となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	880,000	6.9	100,000	△23.4	105,000	△20.6	71,000	△20.0	218.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	31年3月期3Q	325,080,956株	30年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	343,309株	30年3月期	394,937株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	31年3月期3Q	324,717,356株	30年3月期3Q	324,675,340株

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成31年2月5日(火)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年12月31日）のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかし、米中貿易摩擦などの影響により世界経済の減速が懸念され、その先行きは一層不透明感を増しております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、ナフサ価格等の上昇に伴う販売価格の上昇やエンジニアリング事業における半導体関連プラントの受注等により、6,457億51百万円と前年同期に比べ438億20百万円（7.3%）の増収となりました。営業利益については、原燃料価格の上昇による交易条件の悪化等により、796億42百万円と前年同期に比べ147億2百万円（15.6%）の減益となりました。経常利益については、為替差益が減少したこと等により、831億84百万円と前年同期に比べ165億36百万円（16.6%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、563億59百万円と前年同期に比べ126億18百万円（18.3%）の減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## 石油化学事業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、定修年による生産量の減少に伴い出荷が減少しましたが、ナフサ価格等の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内出荷が減少しましたが、ナフサ価格の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。クロロブレンゴムは、生産量の減少に伴い出荷が減少しましたが、堅調な海外需要を背景に輸出価格は上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ92億33百万円（6.8%）増加し1,446億円となりましたが、営業利益は交易条件の悪化等により、前年同期に比べ52億65百万円（29.9%）減少し123億18百万円となりました。

## クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、国内外とも出荷が堅調に推移いたしました。また、海外市況は下落しましたが、国内価格の是正により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマーは、出荷が増加し、海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニル樹脂は、生産量の減少に伴い出荷が減少しましたが、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。

セメントは、国内出荷は堅調に推移しましたが、輸出は減少いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、出荷が減少し、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ110億57百万円（4.6%）増加し2,540億24百万円となりましたが、営業利益は交易条件の悪化等により、前年同期に比べ136億22百万円（29.5%）減少し326億26百万円となりました。

## 機能商品事業

エチレンアミンは、生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少いたしました。診断関連商品は、中国向けで体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、自動車排ガス触媒用途を中心に輸出が増加いたしました。ジルコニアは、装飾品用途での出荷が増加いたしました。石英ガラスは、半導体製造装置向けに出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ95億93百万円（6.9%）増加し1,479億91百万円となり、営業利益は前年同期に比べ12億73百万円（4.7%）増加し283億57百万円となりました。

## エンジニアリング事業

水処理事業は、半導体関連の大型プロジェクトを国内外で受注したことに加え、企業の堅調な設備投資・生産活動を背景に、メンテナンス・消耗品交換等のソリューションサービスが好調に推移したことから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ116億90百万円(21.5%)増加し659億60百万円となり、営業利益は前年同期に比べ31億9百万円(239.6%)増加し44億7百万円となりました。

## その他事業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ22億46百万円(7.3%)増加し331億74百万円となりましたが、営業利益は前年同期に比べ1億97百万円(9.3%)減少し19億32百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、有形固定資産の増加等により、前期末に比べ257億17百万円増加し8,714億66百万円となりました。

負債は、未払法人税等や長期借入金の減少等により、前期末に比べ60億57百万円減少し3,116億24百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ317億75百万円増加し5,598億41百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、平成30年11月1日に発表した予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	106,554	74,973
受取手形及び売掛金	219,676	237,064
商品及び製品	91,724	97,177
仕掛品	8,842	13,119
原材料及び貯蔵品	41,215	44,908
その他	24,211	29,238
貸倒引当金	△632	△638
流動資産合計	491,591	495,844
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	72,438	84,079
土地	72,545	72,220
その他（純額）	98,463	114,173
有形固定資産合計	243,446	270,474
無形固定資産		
	4,366	4,625
投資その他の資産		
投資有価証券	62,380	56,970
退職給付に係る資産	23,480	24,115
その他	20,956	20,008
貸倒引当金	△474	△572
投資その他の資産合計	106,343	100,523
固定資産合計	354,157	375,622
資産合計	845,748	871,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,069	112,574
短期借入金	69,545	83,683
未払法人税等	27,347	9,809
引当金	12,479	5,255
その他	41,104	42,775
流動負債合計	254,545	254,098
固定負債		
長期借入金	38,295	30,658
引当金	1,441	2,227
退職給付に係る負債	19,619	20,102
その他	3,780	4,537
固定負債合計	63,136	57,525
負債合計	317,682	311,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,890	44,933
利益剰余金	372,085	408,959
自己株式	△370	△324
株主資本合計	471,778	508,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,754	12,394
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△1,752	△2,906
退職給付に係る調整累計額	4,043	4,070
その他の包括利益累計額合計	19,045	13,558
新株予約権	282	297
非支配株主持分	36,960	37,244
純資産合計	528,066	559,841
負債純資産合計	845,748	871,466

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	601,930	645,751
売上原価	426,530	480,585
売上総利益	175,400	165,165
販売費及び一般管理費	81,054	85,523
営業利益	94,345	79,642
営業外収益		
受取利息	116	180
受取配当金	1,540	1,816
為替差益	2,295	852
持分法による投資利益	1,508	996
その他	1,309	1,687
営業外収益合計	6,769	5,533
営業外費用		
支払利息	969	864
その他	424	1,126
営業外費用合計	1,394	1,990
経常利益	99,720	83,184
特別利益		
固定資産売却益	136	340
投資有価証券売却益	228	97
特別利益合計	364	438
特別損失		
固定資産売却損	1	11
固定資産除却損	818	1,460
投資有価証券評価損	-	164
減損損失	25	61
特別損失合計	845	1,697
税金等調整前四半期純利益	99,239	81,925
法人税等	29,651	24,393
四半期純利益	69,588	57,531
非支配株主に帰属する四半期純利益	609	1,171
親会社株主に帰属する四半期純利益	68,978	56,359

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	69,588	57,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,638	△4,309
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	△171	△1,292
退職給付に係る調整額	614	79
持分法適用会社に対する持分相当額	342	△142
その他の包括利益合計	7,429	△5,665
四半期包括利益	77,017	51,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,271	50,872
非支配株主に係る四半期包括利益	746	993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	135,366	242,966	138,398	54,270	30,928	601,930	—	601,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,043	19,449	8,899	7,451	38,881	135,725	△135,725	—
計	196,410	262,416	147,298	61,721	69,809	737,656	△135,725	601,930
セグメント利益	17,584	46,248	27,084	1,297	2,130	94,345	—	94,345

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	144,600	254,024	147,991	65,960	33,174	645,751	—	645,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,335	23,898	11,230	11,875	41,140	162,480	△162,480	—
計	218,935	277,922	159,222	77,836	74,315	808,231	△162,480	645,751
セグメント利益	12,318	32,626	28,357	4,407	1,932	79,642	—	79,642

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

## 2018年度第3四半期連結決算概要

平成31年2月4日  
東ソー株式会社

## (1)業績

(単位:億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増 減	2017年度	2018年度(予想)
売 上 高	6,019	6,458	438	8,229	8,800
営 業 利 益	943	796	△ 147	1,306	1,000
経 常 利 益	997	832	△ 165	1,323	1,050
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	690	564	△ 126	888	710
1株当たり四半期(当期)純利益	212円45銭	173円57銭	△ 38円89銭	273円49銭	218円65銭

(注)平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

## (2)指標

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増 減	2017年度	2018年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	111.69	111.14	△ 0.55	110.85	110.13
為替[TTM期中平均](円/EUR)	128.55	129.47	0.92	129.66	129.90
国産ナフサ価格(円/KL)	39,933	52,067	12,134	41,925	55,075

## (3)事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

	2017年度 第3四半期	2018年度 第3四半期	増 減	増 減 要 因				
				数量差	価格差	交易条件	固定費差他	
石油化学	売上高	1,354	1,446	92	△ 103	195	-	-
	営業利益	176	123	△ 53	△ 22	-	△ 35	5
クロル・アルカリ	売上高	2,430	2,540	111	△ 38	149	-	-
	営業利益	462	326	△ 136	59	-	△ 167	△ 28
機能商品	売上高	1,384	1,480	96	88	8	-	-
	営業利益	271	284	13	37	-	△ 13	△ 11
エンジニアリング	売上高	543	660	117	115	2	-	-
	営業利益	13	44	31	31	-	0	0
その他	売上高	309	332	22	3	19	-	-
	営業利益	21	19	△ 2	△ 2	-	0	△ 1
合 計	売上高	6,019	6,458	438	66	372	-	-
	営業利益	943	796	△ 147	103	-	△ 215	△ 35

(注)億円未満は四捨五入